

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2011-104412(P2011-104412A)

【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2011-44161(P2011-44161)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 8

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月13日(2012.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を用いて所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技球が進入可能な開放状態と遊技球が進入不可能な閉鎖状態とに変化可能な可変入賞装置と、

所定の開放条件が成立したときに前記可変入賞装置を閉鎖状態から開放状態に変化させる可変入賞装置制御手段と、

前記可変入賞装置に進入した遊技球を検出して入賞検出信号を出力する入賞検出手段と、

前記可変入賞装置制御手段によって前記可変入賞装置が開放状態に制御されていないときに、前記入賞検出手段が前記入賞検出信号を出力したことにもとづいて、異常入賞が発生したと判定する異常入賞判定手段と、

前記異常入賞判定手段によって前記異常入賞が発生したと判定されたことにもとづいて、前記異常入賞が発生したことを示す異常報知を実行する異常報知手段と、

遊技機への電力供給が停止していても記憶内容を所定期間保持可能なバックアップ記憶手段と、

遊技機への電力供給が開始されたときに、前記バックアップ記憶手段が記憶する記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、

前記初期化処理が実行されたことを示す初期化報知を実行する初期化報知手段とを備え、

前記異常報知手段は、前記初期化報知手段による前記初期化報知が終了した後に前記異常報知を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0008**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0008】**

本発明は、異常入賞が発生したことを認識させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0009**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0009】**

本発明による遊技機は、遊技球を用いて所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技球が進入可能な開放状態と遊技球が進入不可能な閉鎖状態とに変化可能な可変入賞装置（例えば、特別可変入賞球装置20、可変入賞球装置15）と、所定の開放条件が成立（例えば、特別図柄の可変表示結果が大当たりとなって大当たり遊技状態に移行したこと、普通図柄の可変表示結果が当りとなったこと）したときに可変入賞装置を閉鎖状態から開放状態に変化させる可変入賞装置制御手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS1476を実行する部分。遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS4171を実行して可変入賞球装置15を開放状態に制御する部分）と、可変入賞装置に進入した遊技球を検出して入賞検出信号を出力する入賞検出手段（例えば、カウントスイッチ23、第2始動口スイッチ14a）と、可変入賞装置制御手段によって可変入賞装置が開放状態に制御されていないときに、入賞検出手段が入賞検出信号を出力したことにもとづいて、異常入賞が発生したと判定する異常入賞判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS255～S259，S263を実行する部分。ステップS267～S271，S275を実行する部分）と、異常入賞判定手段によって異常入賞が発生したと判定されたことにもとづいて、異常入賞が発生したことを示す異常報知（例えば、異常入賞報知、始動異常入賞報知）を実行する異常報知手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS835A，S835C，S846，S847B，S1906～S1916，S1906A～S1916を実行する部分）と、遊技機への電力供給が停止していても記憶内容を所定期間保持可能なバックアップ記憶手段と、遊技機への電力供給が開始されたときに、バックアップ記憶手段が記憶する記憶内容を初期化する初期化処理を実行する初期化手段と、初期化処理が実行されたことを示す初期化報知を実行する初期化報知手段とを備え、異常報知手段は、初期化報知手段による初期化報知が終了した後に異常報知を実行可能であることを特徴とする。

そのような構成により、異常入賞が発生したことを認識させることができる。